



大出区安全安心なまちづくり



推進協議会だより

令和元年 6 月 第 6 号

地震対策「感震ブレーカー」の斡旋について

- 地震被害の防止対策として、電気(通電)火災を防ぐ「感震ブレーカー」を大出区安全安心なまちづくり推進協議会が斡旋いたします。
- 感震ブレーカーは、地震の揺れを感知して電気のブレーカーを発生時に切断して、通電による電気コードの切断・圧迫、発熱する電気器具にかぶさった衣類等引火しやすいものから発生する火災を防ぐものです。
- 今回斡旋の感震ブレーカーは、感知震度の切り替えは震度 5 強と震度 6 弱で、通常価格は 4,800 円ですが、関係業者の好意により 3,500 円になり、推進協議会が 1,500 円補助するため 2,000 円で購入できます。
- ただし、最近のブレーカーに「ふた」がついていものは「ふた」が閉まらなくなります。また、最近のブレーカーには、感震装置があるものもありますので確認してください(設置の必要はありません)。
- 両面テープでブレーカーに接着するもので、簡単に設置できます。
- 今回の斡旋は、30 個で予定数量を上回る場合は、その分を次回に持ち越す予定です。



ブレーカー
へ設置



○箕輪町における地震被害予測

- ・伊那谷断層帯の 30 年以内発生確立はほぼゼロですが、発生すれば震度 7(最大)
- ・南海トラフ地震の 30 年以内発生確立は 70%程度で、発生すれば震度 6 弱
- ・糸魚川静岡構造線での 30 年以内発生確立は 13-30%で、発生すれば震度 7(最大)

○地震被害における電気火災

- ・阪神淡路大震災では、139 件の火災のうち電気火災は 85 件(約 6 割り)
- ・東日本大震災では、110 件の火災のうち電気火災は 71 件(約 6 割強)
- ・首都直下地震では、推定死者 2 万 3 千人、全壊焼失 61 万棟の被害が予測されますが感震ブレーカーで火災死者を 40%以上減らせると言われています。
- ・箕輪町では、糸魚川静岡構造線の地震で 120 棟が焼失、伊那谷断層帯地震で 110 棟が焼失するとの予測がされています。(電気火災だけでなく全ての火災被害)

地震に対しては、できることからの対策(家具転倒防止対策、感震ブレーカー設置等)が必要です。申し込みは、裏面へ記載して組長さん経由でお願いします。

感震ブレーカー申し込み

感震ブレーカー(2,000 円)を申し込みます。

○組名 _____ 組

○氏名 _____

○連絡先(電話番号) _____

※申し込み時には、分電盤(ブレーカー)に「ふた」がないことを確認してください。
「ふた」のあるものは、取り付けにより「ふた」が閉めれなくなります。

※予定数量を超える場合は、次回幹旋時の対応予定です。

※代金は、感震ブレーカーと引き換えになります。

組長さんは、7 月 19 日(金)の合同会に提出願います。